

日本地衣学会

No.145

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 会員通信	541
ヘルシンキ自然史博物館植物標本庫訪問記／綿貫 攻	541

会員通信 *From Members*

ヘルシンキ自然史博物館植物標本庫訪問記

Report of visiting to the Herbarium of The Finnish Museum of Natural History/ by WATANUKI Osamu

>>>>>> 綿貫 攻：秋田県立大学大学院

IAL8 の会期中の 8 月 4 日、ヘルシンキ自然史博物館植物標本庫を訪れ標本を閲覧してきたのでその概要を紹介する。

ヘルシンキ自然史博物館の植物・菌類部門は植物園の中にあり、標本庫には約 330 万点の標本が収蔵されている。地衣類の標本も充実しており、その中には Acharius Herbarium (約 5,500 点)、Nylander Herbarium (約 52,000 点)、Herbarium Aino Henssen (約 3 万点) がある。中にはタイプ標本も多く、これらはデジタル化が進められており、

JSTOR の HP (<https://plants.jstor.org/collection/TYPSPE>) で見ることができる。Nylander Herbarium には V. Räsänen や E. Vainio の関連標本も含まれ、



図 1. 標本庫外観



図2. 標本庫内部



図3. リンネ胸像



図4. 標本ロッカー

安田篤が送ったものや E. Almquist が日本に寄港した際の標本など、日本産タイプ標本も数多く含まれる。今回の目的は、筆者が研究しているスミイボゴケ属 *Buellia* 関連のタイプ標本確認であった。

前もってシニアキュレーターの S. Stenroos 氏（ハナゴケ属の研究者）に閲覧をお願いし、標本のリストを送った。当日はキュレーターの L. Myllys 氏（ホネキノリ属の研究者）と IAL8 の会場で 10 時 30 分に待ち

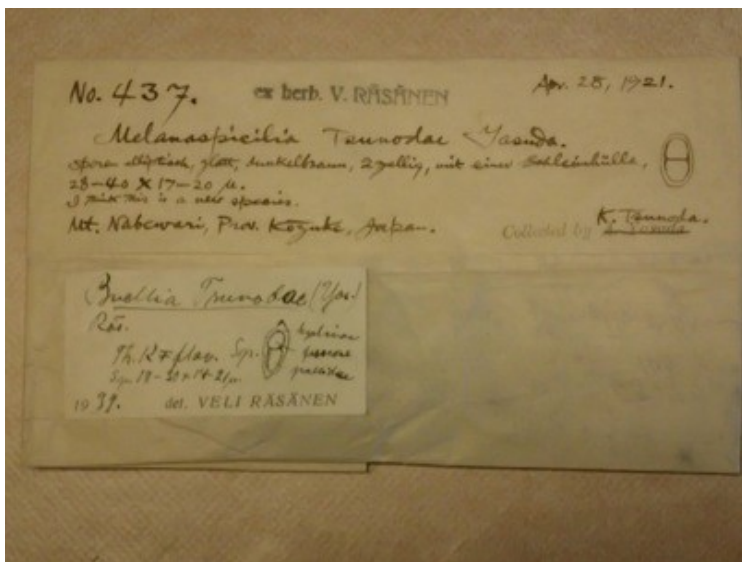


図5. *Buellia tsunodae* のホロタイプ標本のオリジナルパケット。

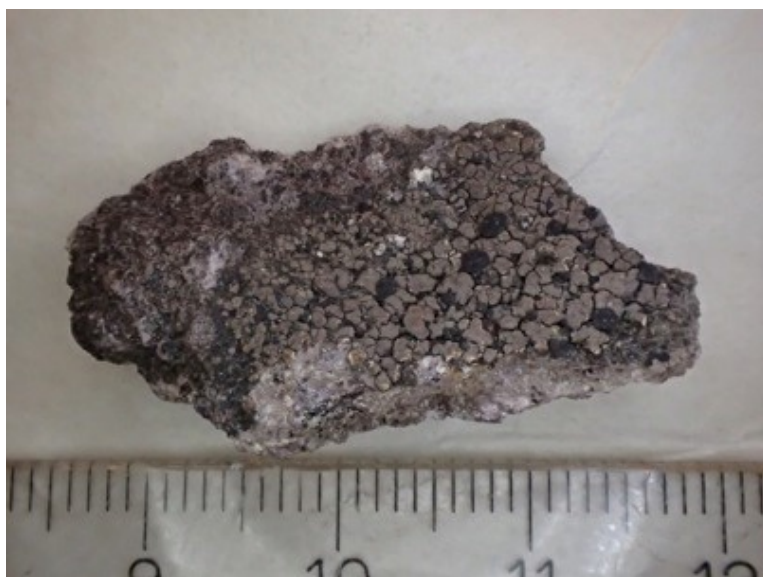


図6. *Buellia tsunodae* のホロタイプ標本。

合わせ、徒歩で 10 分ほどの植物園にある標本庫へ向かった（図1）。内部にはこの標本庫に関わったと思われる人物の肖像（図2）やリンネの胸像（図3）などが飾られていた。

部屋に案内されるとアシスタントの方がすでに標本を用意してくれていた。標本を持って地衣類の標本庫へ向かうと韓国の B. Lee 氏（昨年之久留米の学会にも来ていた）がホシゴケ属 *Arthonia* の標本をみていた。

前日に、IAL8 の会場で「明日は標本庫へ行く」と話したところ、彼も興味を持ったようで、T. Ahti 氏にお願いし今日連れてきてもらったとのこと。彼は明日も来て関連する標本をすべて見ると言っていた。

地衣類の標本庫は木のロッカーが向かい合わせに並べられている。間の細長い空間に机が置かれ、双眼実体顕微鏡と生物顕微鏡が設置されていた（図4）。薄層クロマトグラフィーもできるようである。使う机を

指示され、標本の取り扱いと 20 時までには退出すること、などを簡単に説明すると Myllys 氏は会場に戻る、と言ってすぐに帰ってしまい、アシスタントの方も午後 3 時頃に退出してしまった。あとはご自由に、という感じで、標本閲覧についてはもう少し厳しいかと思っていたので拍子抜けした感もあった。

時間ももったいないので、早速標本を見始める。ラベルと標本の写真を撮り、双眼実体顕微鏡で観察し、写真を撮る。ラベルにはオリジナルと思われる記載やスケッチがあったり(図5)、スミイボゴケ属研究者として著名な B. Marbach 氏のアノテーションや観察に使ったプレパラートが残っていたり、非常に興味深い。次に切片を作製し生物顕微鏡で観察し、写真を撮る。標本は2~3cm 程度のものが多く(図6)、子器の数も限られているため、切片作製には気がついた。

残念ながら *Buellia xylographella* の標本は失われており、ラベルのみが残っていた。また、*B. tetrastichella* についてはあまりに小さく、切片作製を断念した。観察した標本については簡単なアノテーションをつけた。

昼食抜きで夕方 5 時頃までかかって標本を見終えた。今回の訪問で懸案であった *Sculptolumina japonica* の確認、*Buellia subnexa* と *B. pleiophoroides* の比較ができた。この成果は順次論文で発表していきたい。また、今まで標本が得られていない種についても実際に目にする事ができたので、今後採集したときの同定に役立つ。シンポジウムは休んだが、その価値のある1日であった。

最後に、訪問を快く受け入れてくれたヘルシンキ自然史博物館の方々に感謝します。

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102 号 378 ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 145, pp. 541-544: eds. Nakashima H., Bando M., Kawakami H. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 2 May 2017.

日本地衣学会ニュースレター 145号

発行日：2017年 5月 2日

編集：中嶋裕之・坂東誠・川上寛子・原田浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8558神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学

©2017日本地衣学会 (© 2017 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複製等は固くお断りいたします。